

この地域で暮らしたい ～栲原町 しまがわ市場～



□ 四万十川の語源? ～栲原町四万川地区～

「四万十川」の語源については諸説紛々でいまだ定説をみないが、その一つに「栲原川の支流・四万川(しまがわ)と十川(とわか)を合わせて四万十川になった」という説がある。これは江戸時代の終わりに防意軒半開という人が『幡多郡紀行』(1858年)の中で書いているもので「四万十川といふことは数流落集するが中にも津野山郷の四万川と上山の十川と流れ合ふを以てかく言へるとぞ」とある。説の真偽のほどはともかく、今回取り上げるのはこの四万川の流域の13集落からなる栲原町四万川地区。

278世帯583人(平成26年3月31日現在)が暮らす四万川地区は、四万十川の上流域、栲原町の北西部にある。大野ヶ原・四国カルストへの西の玄関口に位置し、隣接する愛媛県との繋がりも深い。脱藩の道やキレンゲシヨウマの群生地といった観光資源も持つ。



□ 集落存続の危機を地域づくりのチャンスに 集落活動センター四万川と しまがわ市場

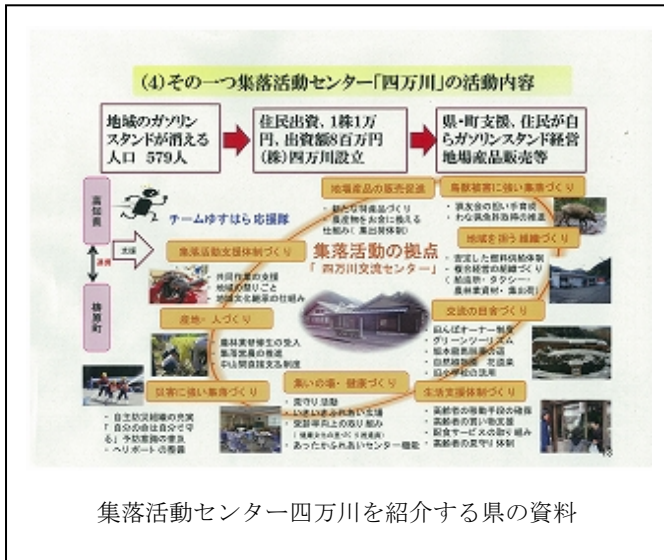
平成25年1月、この集落にあった唯一の給油所が閉鎖した。ガソリンはもちろんのこと、農機具に使う軽油や混合ガソリン等、中山間地域にとってガソリンスタンドはなくてはならない存在である。高齢化率50パーセントを越えるこの地区にとっては死活問題。集落存続の危機という表現も決して大げさではない。四万川の住民たちの動きは素早かった。住民自らが一株1万円出資して300株を集め、区の基金から500株を購入。出資金800万円で四万川区を大株主とする住民株式会社四万川を設立、区長が社長になり、事業をスタートした。

高知県の施策もこの動きを後押しした。県は2012年度から10年計画で、集落維持のための小さな拠点「集落活動センター」を130箇所を設置する計画を策定している。栲原町と四万川地区はこの制度を活用して、ガソリンスタンドに加え、地域産品や農業資材等を扱う「しまがわ市場」も併設することにした。

集落活動センター四万川は、その目的を「集落活動の維持・発展や福祉・生活の絆の力を磨き、住民全体による持続可能な集落づくりを図る」とし、以下の事業内容を掲げている。

- 1 地域で楽しくお金を稼ぐ仕組み作りに関すること。
- 2 地域住民が主体となって支え合い、助け合うことができる仕組み作りに関すること
- 3 活動している団体の取組みを支援し、発展に繋げる仕組み作りに関すること。
- 4 皆(地域も顧客も)が幸せを感じる仕組み作りに関すること。





四万川区長で株式会社四万川社長の空岡則明さんにお話を伺った。集落活動センターが今持っている事業は、ガソリンスタンド、しまがわ市場の経営、龍馬脱藩の道でもある蕪ヶ峠のトイレ維持管理(町から委託)、町の福祉活動への協力、それにたばこ販売である。たばこ販売は、経営が難しくなった地区内の商店の権利を引き継いだものだ。

「この地域もますます高齢化が進みます。個人商店も継続が難しくなっていく。ここはその受け皿にはなれると思います。人口減の時代、この集落が未来永劫続くというのは難しいかもしれない。でも、ここの頑張りでその先送りができる、そう思っています。」

四万川地区はお茶堂の会による棚田オーナー制度など、住民主体の地域活性化が盛んな地域だ。住民有志グループが新たな地場産品としてお菓子作りも始めたところだという。その核になるのも、もちろんしまがわ市場だ。

経営状況について正直なところをうかがうと、「今現在は運営助成金で成り立っている部分がありますが、それが切れるまでに自立できるかどうか、そこが重要。手応えは感じています。ただ、ここの経営だけ考えるのならばまだ楽。それだけじゃいかん。集落のための場にならなけりゃいかん。」「幸いここはみんなの通り道、昔からの中心地です。いつでも立ち寄れる場所。新聞を持ってきて読んでいく人もいます。そんな地域の要となる場、地域の安心の場であり続けたい。」空岡さんは力強く言った。

四万川地区の挑戦にエールを送りたい。



左から四万川区長の空岡則明さん・しまがわ市場スタッフの佐竹美佐さん、梶原町地域おこし協力隊の平脇慶一さん。しまがわ市場はフェイスブック([facebook しまがわ市場](#))に随時情報をあげ、地域の旬な情報や店頭に並ぶ地場産品のPRにも努めている。青く澄んだ空が印象的な季節ごとの美しい写真とともに紹介されるページを見て、皆さんも是非ここの活動を応援していただきたい。



☆ インタビューの最後に、四万川のおすすめスポットを伺ったので実際にお邪魔してきた。その中から2つだけご紹介しよう。

D'a Pan 屋(だっぱんや)

クッキーシュークリーム(一個¥180)が看板商品。

高知市内のホテルなどで修行を積んだ渡部シェフのランチも大人気。

詳しくは HP (<http://www.dappanya.com/>)

または FB (<https://www.facebook.com/dappanya>)



百一草園

個人の趣味から始めたとはとても信じられない植物園。園内には400種を超える山野草が植えられ、季節ごとに見事な花を楽しませてくれる。特キレンゲショウマ6000株の群生は圧巻。ご主人、奥さんとも気さくな人柄で、訪れた人を迎えてくれます。野生の手のりヤマガラも大人気。詳しくはブログ「四国カルストで花道楽」(<http://blogs.yahoo.co.jp/hanadouraku2>)